

令和5年 9月19日

川崎市議会議長 青木功雄様

中原区

川崎ハーネスの会

補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）への医療費助成についての陳情

私たちは「川崎ハーネスの会」という、本市在住の盲導犬ユーザーの団体です。

私たちは、自分が思った時に自由に外出したいという思いで、視覚障害を補う補助手段として盲導犬と歩くことを選択しました。

1 陳情の趣旨

盲導犬の健康と清潔の維持に10万円以上の費用が掛かります。その中でも、特に医療費が高額で、毎月の健康チェック、年1回の健康診断、混合ワクチン接種、ノミ、ダニ、フィラリア予防薬の投与に月額1万円以上掛かります。

盲導犬は、私たちの安心・安全な歩行を支援する、視覚障害という社会的不利益を補う補助手段です。

このことは盲導犬のみならず、補助犬と暮らす者の共通の課題です。

補助犬への医療費助成を陳情いたします。

2 陳情の理由

(1) 盲導犬を同伴して外出することで、社会参加の幅が広がります。経済的に余裕があるからではなく、自立して生活をするためです。

(2) 盲導犬は視覚障害者のために訓練された犬です。視覚障害という社会的不利益を補う補助手段です。そのため、日頃からパートナーの健康と清潔

さを維持し、外出の時は周りの人に不愉快な思いをさせないように、常に心掛けています。

- (3) しかしながら、神奈川県内で、本市だけが補助犬への医療費助成がありません。横浜市では20年以上前から、横浜市の事業として、補助犬を選択した障害者がそのための経済的負担を負うことがないように、補助犬への医療費を全額補助しています。

安心して補助犬を使うために、本市でも補助犬の医療費助成制度をつくってほしいと思います。